

アカウミガメの採卵保護を行いました

高知市立春野西小学校

土佐市新居 令和2年6月23日(火)

高知市立春野西小学校の4年生が、ウミガメ保護活動をしている「春野の自然を守る会」の熊沢さん指導の下、アカウミガメ(以下、ウミガメ)の採卵保護を行いました。



▼まず始めに、全員で海岸の清掃をしてくださいました。
砂浜にはペットボトルや空き缶、プラスチックなどが打ち上がっていました。



▼短い時間でしたが、たくさんのゴミが集まりました。
きれいになった海岸に、またウミガメが産卵してくれるといいですね！



▼砂浜を清掃したあと、小学校で約1年間飼育をした2匹のウミガメを放流しました。

波で砂浜に戻されるウミガメに「がんばれー！」「次の波でいけるで！」と何度も大きな声で応援し、みんなで見守りました。

先に1匹のウミガメが海へ帰り、そのあとを追いかけるようにもう1匹のウミガメも海へ帰っていきました。



▼2匹を見送ったあと、いよいよ採卵保護開始です。
熊沢さんと高知大学の学生さんが慎重に砂を掘っていきます。

卵が見えると「あった!」「すごいー!」と大きな歓声が上がりました!



▼今回は146個の卵を採卵しました。
保護した卵は、小学校のふ化場に移設します。

最後に熊沢さんや高知大学の学生さんたちにお礼をして、ウミガメの採卵保護は無事終了しました。



▼春野西小学校4年生の皆さんは、これから約2ヶ月間、ふ化場の水やりや温度計測など大変ですが、子ガメの誕生を楽しみにお世話を頑張ってください。